


様式第9号 (第6条関係)
(交付対象議員用)


支 出 伝 票

		交付対象議員	整 理 番 号										
			1-1										
支 出 項 目	資料 ^{作成} 費	令和5年 4月11日 起票											
支 払 金 額	<table border="1"> <tr> <td>金</td> <td>額</td> <td>¥</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>円</td> </tr> </table>			金	額	¥	2	0	9	4	2	9	円
金	額	¥	2	0	9	4	2	9	円				
内 容	議会報告配布代 別紙のとおり	按分割合	100%										
《領収書添付欄》													

領 収 証 土屋正順 様 No. 


金額
¥209,429


但 12/23号 千原三伴配代として

内 訳
 現  振込 ¥209,429-
 小切手
 消費税額等 (10%) ¥19,039-

2022年12月20日 上記正に領収いたしました

株式会社 地域新聞社
 〒276-0020
 千葉県八千代市勝田台北1-11-16 5F
 □本社 TEL.047(485)1100



営業担当印


折込チラシ申込書⑥

お問い合わせはお近くの支社、または営業担当へご連絡下さい。
株式会社地域新聞社 支社一覧はこちら(<http://chiiknews.co.jp/company/profile/>)

2022年12月分

更新日 2022/11/15

発行日 12/23	お客様名 土屋正順	サイズ B4	地域新聞社担当 堀内	※チラシ不足時の調整あり (No.) (No.)	※当社担当記入欄 納品方法 ○ ルート便 ○ 引き取り ○ 直納	● 納品済み ○ 引き取り	伝票番号	印	
併配&選挙可能部数	TEL - - (担当: 様)	数量 38,078	折込総数 38,078	船口お任せ ※余りチラシの処理方法 ○ 次回折込 ○ 処分 ○ ご返却	納品日	納品部数	備考	■お申込み締切り 折込希望週の前週金曜日18:00まで ■注文の取消・訂正について 折込前週金曜日18時~当週月曜18時 変更料が50%発生します。 ※上記以降はお受けできません。 ※月曜祝日の場合は、1営業日前倒し	
※太枠内をご記入ください		※お申し込み締切り		※お申し込み締切り		※お申し込み締切り		※お申し込み締切り	

8,727 部 船橋西 17エリア エリア			
No.	エリア名	部数	チェック欄
035001	本中山1	6,691	
035002	本中山2A	469	
035003	本中山2B	715	
035004	本中山2C	530	
035005	本中山3A	855	
035006	本中山3B	872	
035007	本中山4A	620	
035008	本中山4B	625	
035009	本中山5	595	
035010	本中山6	824	
035011	本中山7	590	
035012	本中山	6,891	
035013	中山1	475	
035014	中山2	320	
035015	中山3	395	
035016	中山4	565	
035017	中山	1,755	
035018	奥越1	620	
035019	奥越2A	315	
035020	奥越2B	505	
035021	高石神A	455	
035022	高石神B	380	
035023	高石神	2,275	1,440
035024	奥高1-4	830	
035025	奥高2A	535	
035026	奥高2B	325	
035027	奥高2C	490	
035028	奥高2D	570	
035029	奥高3B	482	
035030	奥高3C	630	
035031	奥高3C	500	
035032	奥高	4,362	4,362
035033	北方1A	300	
035034	北方1B	430	
035035	北方2A	400	
035036	北方2B	660	
035037	北方3A	465	
035038	北方3B	470	
035039	本北方1A	640	
035040	本北方1B	495	
035041	本北方2A	600	
035042	本北方2B	465	
035043	本北方3	560	
035044	本北方	5,485	2,925
035045	田房1-2	580	
035046	田房3A	356	
035047	田房3B	380	
035048	田房4A	370	
035049	田房4B	700	
035050	田房	2,386	
035051	高谷1	680	
035052	高谷2A	510	
035053	高谷2B	430	
035054	高谷	1,620	
035055	市川市	116,706	
035056	船橋市	25,085	
035057	船橋市・市川市	625	
035058	松戸市	2,845	
035059	合計	145,261	

29,351 部 八幡版 65 エリア			
No.	エリア名	部数	チェック欄
036001	八幡1A	50,592	
036002	八幡1B	560	
036003	八幡1C	480	
036004	八幡2A	335	
036005	八幡2B	460	
036006	八幡2C	520	
036007	八幡3A	410	
036008	八幡3B	470	
036009	八幡3C	620	
036010	八幡3D	710	
036011	八幡4A	710	
036012	八幡4B	581	
036013	八幡4C	590	
036014	八幡5A	640	
036015	八幡5B	620	
036016	八幡	7,706	
036017	東大和田1A	570	
036018	東大和田1B	440	
036019	東大和田2	450	
036020	東大和田	1,460	
036021	瑞穂木1A	405	
036022	瑞穂木1B	230	
036023	瑞穂木	635	
036024	八幡1A	420	
036025	八幡1B	320	
036026	八幡1C	295	
036027	八幡2A	542	
036028	八幡2B	470	
036029	八幡3A	580	
036030	八幡3B	565	
036031	八幡3C	495	
036032	八幡4	840	
036033	八幡5A	425	
036034	八幡5B	420	
036035	八幡6A	275	
036036	八幡6B	505	
036037	八幡	6,152	6,152
036038	平田1A	310	
036039	平田1B	520	
036040	平田2	470	
036041	平田3A	330	
036042	平田3B	480	
036043	平田3C	700	
036044	平田4	525	
036045	平田	3,335	830
036046	大和田1	415	
036047	大和田2	500	
036048	大和田3A	555	
036049	大和田3B・4C	405	
036050	大和田4A	405	
036051	大和田4B	600	
036052	大和田5	605	
036053	大和田	3,485	
036054	菅野1A	465	
036055	菅野1B	390	
036056	菅野2A	395	
036057	菅野2B	540	
036058	菅野4A	450	
036059	菅野4B	470	
036060	菅野5A	350	
036061	菅野5B	315	
036062	菅野	3,375	1,375
036063	東菅野1A	365	
036064	東菅野1B	370	
036065	東菅野1C	375	
036066	東菅野2A	350	
036067	東菅野2B	500	
036068	東菅野3A	490	
036069	東菅野3B	550	
036070	東菅野4A	520	
036071	東菅野4B	415	
036072	東菅野5	220	
036073	東菅野	4,155	4,155
036074	宮久保1A	475	
036075	宮久保1B	335	
036076	宮久保1C	440	
036077	宮久保2	570	
036078	宮久保3A	460	
036079	宮久保3B	395	
036080	宮久保3C	450	
036081	宮久保4	450	
036082	宮久保5A	320	
036083	宮久保5B	365	
036084	宮久保6	560	
036085	宮久保	4,820	4,820
036086	菅谷1A	410	
036087	菅谷1B	560	
036088	菅谷2A	355	
036089	菅谷2B	445	
036090	菅谷3A	500	
036091	菅谷3B	445	
036092	菅谷4A	415	
036093	菅谷4B	369	
036094	菅谷5A	470	
036095	菅谷5B	415	
036096	菅谷6	320	
036097	菅谷7A	430	
036098	菅谷7B	435	
036099	菅谷8	430	
036100	菅谷	5,999	5,999
036101	下貝塚1	740	
036102	下貝塚2A	400	
036103	下貝塚2B	405	
036104	下貝塚3	330	
036105	下貝塚	1,875	
036106	南大野1A	475	
036107	南大野1B	725	
036108	南大野1C	470	
036109	南大野2A	490	
036110	南大野2B	595	
036111	南大野2C	530	
036112	南大野3	735	
036113	南大野	4,020	4,020
036114	大野町1A	465	
036115	大野町1B	525	
036116	大野町2A	615	
036117	大野町2B	410	
036118	大野町3B	400	
036119	大野町4A	575	
036120	大野町	2,990	
036121	泰免町	585	
036122	泰免町	585	
036123	松戸市	2,845	
036124	高塚新田(高塚団地)	620	
036125	高塚新田(梨香台団地)	730	
036126	高塚新田	500	
036127	高塚新田B	280	
036128	高塚新田C	295	
036129	高塚新田E	420	
036130	高塚新田	2,845	

市川版			
No.	エリア名	部数	チェック欄
037001	市川市	39,201	
037002	市川1A	385	
037003	市川1B	405	
037004	市川1C	615	
037005	市川2A	660	
037006	市川2B	470	
037007	市川2C	575	
037008	市川3A	470	
037009	市川3B	384	
037010	市川3C	500	
037011	市川4	445	
037012	市川	5,419	
037013	市川南1A	240	
037014	市川南1B	740	
037015	市川南1C・2	520	
037016	市川南2	540	
037017	市川南3A	180	
037018	市川南3B	560	
037019	市川南3C	745	
037020	市川南4A	490	
037021	市川南4B	465	
037022	市川南4C	500	
037023	市川南	5,180	
037024	真国1A	390	
037025	真国1B	465	
037026	真国2A	370	
037027	真国2B	515	
037028	真国3	380	
037029	真国4A	345	
037030	真国4B	565	
037031	真国	3,730	
037032	新田1A	470	
037033	新田1B	455	
037034	新田2A	710	
037035	新田2B	635	
037036	新田2C	440	
037037	新田3A	535	
037038	新田3B・平田4	580	
037039	新田3C	385	
037040	新田4A	790	
037041	新田4B	480	
037042	新田5A	560	
037043	新田5B	645	
037044	新田	6,685	
037045	北国分1	510	
037046	北国分2	610	
037047	北国分3	495	
037048	北国分4	510	
037049	北国分	2,125	
037050	瑞穂町A	390	
037051	瑞穂町B	375	
037052	瑞穂町C	390	
037053	瑞穂町	1,155	
037054	東国分1	300	
037055	東国分2	360	
037056	東国分	660	

サイズ(併記) 厚物
A6~B5:ほか(折込) 4.5 5.2
A 4 (折込) 4.7 5.4
B4(二つ折り納品) 5.0 5.7
A3(二つ折り納品) 6.2 7.2
B3(四つ折り納品) 6.5 7.5

*四六判91kg以上は厚物となります。(裁断により多少の誤差あり。1部あたりのg基準あり。)
*折物は、別途お見積り致します。

引取料 1万部未満...3000円(税別)
1万部以上...1部につき0.3円(税別)

納品先 株式会社地域新聞社 千葉配送センター
tel.047-489-6133 / fax.047-489-6134
〒276-0004 千葉県八千代市島田台981-1



市川市議会議員

つちや正順

せいじゅん



給食費無償化が実現！子育て新制度、続々登場

来年から始まる給食費の無償化をはじめ、0～3歳児を養育している方への給付金制度が早い方で来年2月中旬から支給開始、さらに「こども医療費助成の拡充」も来年4月から始まります。各制度の内容については下記別表をご覧ください。こうした子ども・子育て支援策に対して、私は賛成・推進の立場で活動しています。しかし、子どもに関するこうした施策は、本来、最終的には国が全国一律に実施することが重要です。生まれた地域によって支援の内容が異なることは望ましいことではありません。ただし、国の動き方が遅い現実がある以上、他の自治体に先んじて市川市として独自に子育て支援策を進めていく必要があるのです。

子ども医療費助成の拡充

子ども医療費助成



1. 高校生まで拡大(償還払い)
⇒ 令和5年4月1日開始予定
2. 一定回数以上の自己負担分無償化
⇒ 令和5年8月1日開始予定

ひとり親家庭等 医療費等 助成

3. 自己負担額 **300円** ⇒ 0円(無償化)
⇒ 令和5年4月1日開始予定



赤ちゃん健やか応援給付金の支給

対象者

平成31年4月2日～令和5年4月1日の間に生まれた0～3歳の児童を養育している市内在中の方
所得制限なし

支給額

児童1人あたり**45,000円**

支給時期

令和5年2月中旬以降、順次

児童手当受給者、所得超過の方は申請不要
それ以外の方は申請必要

【お問い合わせ先】市川市役所 こども福祉課 047-712-8539

原油・物価高騰から市川の障がい者福祉を守り抜く！

原油価格・物価の高騰は障がい福祉の現場にも影響が出ています。令和4年9月議会および令和4年12月議会において、つちやは障がい福祉サービス事業所に対する支援金給付について一般質問を行いました。財源は国からの臨時交付金を活用したのですが、その配分を福祉分野に充てたことについては、福祉分野の方々から一定の評価がありました。

一方で、支援金額がサービスの種類等によって一律であった点について、事業所の規模に応じた支給額の設定が望まれる声や、移動の際に燃料費がかかる訪問型や相談型支援に対しては支援額を考慮してほしい、という声が寄せられています。

今回の原油・物価高騰においては、市民生活同様に、私たち市民の最後の命綱である福祉サービスを守り抜く意思が必要です。ともすれば、福祉分野は政策の中心から置き去りにされがちです。苦しい時に、厳しい局面にいる方々が切り捨てられることがあってはいけません。私は引き続き、この分野にこそ光をあて、守り抜く決意で議会活動に取り組みます。



障がい福祉サービス事業所等 原油価格・物価高騰対策支援金

給付対象

1. 市川市内に所在すること
2. 令和4年4月1日から令和4年10月31日までの間に障害福祉サービス等を提供した実績があること
3. 令和4年10月1日において事業所を休止し、または廃止していないこと

申込方法

市川市公式HPの当支援金給付のページにて申込書をダウンロードし、メールにて提出。

申込期限

令和4年12月28日までに申し込みが到着したもの



【お問い合わせ先】

市川市役所 障がい者支援課 047-712-8516

大胆な子ども・子育て政策を打つ時は今

【子ども・子育て政策をさらに推進すべく先進自治体を調査】

兵庫県の明石市は、出生率が全国平均を上回り、子育て世帯を中心に多くの市民からの信頼が厚い自治体です。※主なメニューは下記の通りです。

市川市では0歳と10歳の子どもを持つ世帯で市外への転居が目立っています。これは、市内で子育てに奮闘されている方々に対する支援が足りていないからである、と私は考えます。

そこで、本市の子ども子育て政策をさらに前進、実行すべく、自治体の財政規模や人口が市川市と類似する兵庫県・明石市への現地調査・視察を行いました。



もっとできる！市川の子育て政策

子育て支援の5つの無料化



こんなに充実！
明石市の子育て

①
子ども医療費の無料化

②
第二子以降の保育料の完全無料化

③
0歳児の見守り訪問
毎月子育て用品をお届け

④
中学校の給食費無償化

⑤
公共施設の入場料無料化

その他、子育て充実ポイント！！

- ・保育施設等での使用済み紙おむつの保護者持ち帰りの廃止
- ・市内全公立幼稚園で給食を実施 などなど

上記した子ども・子育て支援政策はフィクションではありません。現実に明石市で実行されている政策です。

「少子化対策」という言葉が使われて久しいですが、調査を通じて感じることは、今ある子どもの命と権利、保護者の方々の現実に寄り添うことが最も重要なのだということです。「少ない子どもを増やそう」というだけの単純な発想が出発点では、子どもや保護者が生きやすい安心な地域を構築することなどできません。

何より大切なことは、子どもと、子を持ちながら不安や困難に直面している保護者がいるならば、政治・行政が先頭に立って、具体的なニーズに直結する政策を実行することです。子どものことを保護者まかせにせず、地域の大人たちみんなで守り抜くという価値観の共有と実行力(政策)が必要不可欠です。

子ども・子育て分野においても、必ず議論になるのは財源論です。これはもちろん大切なことです。しかし、類似市である明石市ができていないのに市川市ができていない、という現状には疑問があります。さらには、明石市民の多くがこれら子育て政策を支持している点で、わが市川市こそ、さらなる子育て世帯への支援策を大胆に打っていくべき時と私は考えます。



写真：明石市・子ども局への政策調査

発行者 : 市川市議会議員 つちや 正順 せいじゅん



市川市議会チャンネル【公式】にて、本会議の録画中継がご覧いただけます。

市川市議会ch



☎ 090-6650-1432

✉ seijun-t@mskj.or.jp

つちや正順 公式HP

🔍 検索

セブン-イレブン

東菅野店

千葉県市川市東菅野3-1-11

電話：047-333-2863 レジ#2

2023年03月15日(水) 21:47

インターネットショッピングが払込領収書

お客様控

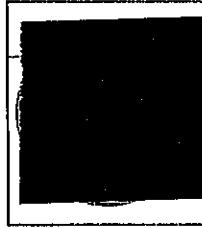
土屋正順 様

¥267,000-

払込先名 印刷通販プリントバック (DGフィナンシャル)
お客様用連絡先

払込票番号

2023年03月15日




- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。



様式第9号 (第6条関係)
 (交付対象議員用)

支 出 伝 票

		交付対象議員		整 理 番 号											
				1-12											
支 出 項 目	資料作成費	令和5年 4月 11日 起票													
支 払 金 額	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>金</td> <td>額</td> <td>¥</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>円</td> </tr> </table>					金	額	¥	1	6	3	9	1	2	円
金	額	¥	1	6	3	9	1	2	円						
内 容	議会報告印刷代		按分割合	100%											
振込手数料152円 含む															
《領収書添付欄》															

セブン-イレブン

東菅野店

千葉県市川市東菅野3-1-11

電話：047-333-2863 レジ#2

2022年12月13日(火) 17:03

インターネット決済払込領収書

お客様控

土屋正順 様

¥163,912-

払込先名 東京カラー印刷(ペイ
ジェント)

お客様用連絡先

払込票番号

2022年12月13日

ネット決済

- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。



様式第9号 (第6条関係)
 (交付対象議員用)

支 出 伝 票

		交付対象議員	整 理 番 号									
			1- 1 3									
支 出 項 目	資料作成費	令和5年 4月 11日 起票										
支 払 金 額	<table border="1"> <tr> <td>金 額</td> <td>¥</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>			金 額	¥	1	1	6	5	4	0	円
金 額	¥	1	1	6	5	4	0	円				
内 容	領収書の議会報告印刷代金の内、22500部分の上記代金を計上		按分割合 100%									
《領収書添付欄》												

請求書

2023年03月15日

土屋正順 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。
何卒よろしくお願い申し上げます

株式会社プリントパッ
〒617-0003
京都府向日市森本町野田
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890

お支払条件 コンビニ決済

納品場所 ご指定場所

御請求金額 101,220円 (税込)

納品期日 3営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PA033337063	品名：つちや正順チラシ B4 / 両面4色 / コート90 / 10,000部×2種類 / 加工1：二つ折り 加工2：	1	101,220	101,220
合 計				101,220

特記事項

請求書

2023年03月15日

土屋正順 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。
何卒よろしくお願い申し上げます

株式会社プリントパ
〒617-0003
京都府向日市森本町野
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890

お支払条件 コンビニ決済

納品場所 ご指定場所

御請求金額 15,320円 (税込)

納品期日 4営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC33337108	品名：つちや正順チラシ B4 / 両面4色 / コート90 / 2,500部×1種類 / 加工1：二つ折り 加工2：	1	15,320	15,320
合 計				15,320

特記事項



市川市議会議員

つちや正順

つちやまさはる



高校生以下、市川市内の駐輪場利用料が減免、決まる！

令和5年2月議会が閉会しました。景気の低迷に加えて、物価の高騰が市民生活を直撃しています。そのため、今議会において、未来を担う子どもたちとその保護者の方々に対する経済的負担軽減策が決まりました。当面の間、市内在住の高校生以下の自転車等駐輪場(駐輪場)の使用料金を減免します。市の財源でできることは、限られています。本来なら、一日も早く、国が率先してさらに大胆な対策を講じるべきです。国の動きが遅い今、市川市では独自の子育て支援策を、国に先んじて次々と進めています。これらについて、私は、推進・賛成の立場で活動しています。新年度から始まる各制度の詳細についても、下記の各表をご覧ください。



対象 市内在住の高校生以下 対象人数は約2700名(見込み)

実施時期 令和5年4月1日から当面の間

※10円未満の端数については切り捨て

現行の使用料体系及び減免後

月額料金 (税込み)	自転車		原動付自転車等	
	現在	減免後	現在	減免後
八幡第3地下など 4施設	1,120円	560円	-	-
八幡第5など 8施設	880円	440円	1,760円	880円
八幡第1など 15施設	710円	350円	1,430円	710円
南行徳第1など 9施設	550円	270円	1,100円	550円
大野第1など 3施設	350円	170円	710円	350円

市川の子育て新制度、続々と始まります！

FOOD RIBBON
リボンがつなく「いただきます」

① 市内小中学校の給食費無償化



小学校 本年4月より開始予定

中学校 本年1月より開始

☎ 教育委員会 学校教育部 保健体育課 047-383-9342

② 子ども医療費助成の拡充



子ども医療費助成

1. 高校生まで拡大(償還払い)
⇒ 令和5年4月1日診療分より開始予定
2. 一定回数以上の自己負担分無償化
⇒ 令和5年8月診療分より開始予定

ひとり親家庭等 医療費等 助成

3. 自己負担額 300円 ⇒ 0円(無償化)
⇒ 令和5年4月1日診療分より開始予定
※非課税世帯はすでに0円

☎ こども政策部 こども福祉課 047-712-8539

③ フードリボンプロジェクトの支援

フードリボンプロジェクトとは…
1つ200円で飲食店の来店者から寄付されるリボンを使って、子どもたちが無料で食事できる仕組み
※令和5年春以降300円になります。

利用者

原則として中学生以下の子ども

提供する食事

飲食店の通常メニューではなく、子どもたちのための「まかない」のようなメニュー

フードリボン実施店舗

飲食店であれば業種を問わない
例)ラーメン屋、カフェ等

市川市公式youtubeにて、フードリボンプロジェクトの概要がご覧いただけます。



☎ こども政策部 こども家庭支援課 047-711-0677

大胆な子ども・子育て政策を打つ時は今！

【子ども・子育て政策をさらに推進すべく先進自治体を調査】

兵庫県の明石市は、出生率が全国平均を上回り、子育て世帯を中心に多くの市民からの信頼が厚い自治体です。※主なメニューは下記の通りです。

市川市では0歳と10歳の子どもを持つ世帯で市外への転居が目立っています。これは、市内で子育てに奮闘されている方々に対する支援が足りていないからである、と私は考えます。

そこで、本市の子ども子育て政策をさらに前進、実行すべく、自治体の財政規模や人口が市川市と類似する兵庫県・明石市への現地調査・視察を行いました。



もっとできる！市川の子育て政策

子育て支援の5つの無料化

① **子ども医療費の無料化**

② **第二子以降の保育料の完全無料化**

③ **0歳児の見守り訪問 毎月子育て用品をお届け**

④ **中学校の給食費無償化**

⑤ **公共施設の入場料無料化**

その他、子育て充実ポイント!!

- ・保育施設等での使用済み紙おむつの保護者持ち帰りの廃止
- ・市内全公立幼稚園で給食を実施 などなど

上記した子ども・子育て支援政策はフィクションではありません。現実に明石市で実行されている政策です。

「少子化対策」という言葉が使われて久しいですが、調査を通じて感じることは、今ある子どもの命と権利、保護者の方々の現実に寄り添うことが最も重要なのだということです。「少ない子どもを増やそう」というだけの単純な発想が出发点では、子どもや保護者が生きやすい安心な地域を構築することなどできません。

何より大切なことは、子どもと、子を持ちながら不安や困難に直面している保護者がいるならば、政治・行政が先頭に立って、具体的なニーズに直結する政策を実行することです。子どものことを保護者まかせにせず、地域の大人たちみんなで守り抜くという価値観の共有と実行力(政策)が必要不可欠です。

子ども・子育て分野においても、必ず議論になるのは財源論です。これはもちろん大切なことです。しかし、類似市である明石市ができていないのに市川市ができていない、という現状には疑問があります。さらには、明石市民の多くがこれら子育て政策を支持している点で、わが市川市こそ、さらなる子育て世帯への支援策を大胆に打っていきべき時と私は考えます。



写真・明石市・子ども局への政策調査

発行者 : 市川市議会議員 **つちや 正順** せいじゅん



市川市議会チャンネル【公式】にて、本会議の録画中継がご覧いただけます。

市川市議会ch



☎ 090-6650-1432

✉ seijun-t@mskj.or.jp

つちや正順 公式HP

検索

様式第9号 (第6条関係)
(交付対象議員用)

支 出 伝 票

		交付対象議員	整 理 番 号									
			1- 1 4									
支 出 項 目	資料作成費	令和5年 4月11日 起票										
支 払 金 額	<table border="1"> <tr> <td>金 額</td> <td>¥</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>円</td> </tr> </table>			金 額	¥	1	1	1	3	7	5	円
金 額	¥	1	1	1	3	7	5	円				
内 容	領収書の議会レポート配布代の内、 22500部分の上記代金を計上		按分割合 100%									
《領収書添付欄》												
<p>領 収 証</p> <p style="font-size: 2em;">士屋正順 様</p> <p>No. _____</p> <p>★ 領 収 額 ¥257,499-</p> <p>但 議 会 レ ポ ー ト ポ ス ト ・ イ ン フ ォ ー マ シ ョ ン 代 として</p> <p>2023 年 3 月 30 日 上記正に領収いたしました</p> <p>内 訳</p> <table border="1"> <tr> <td>〒234,090-</td> </tr> <tr> <td>(%) ¥23,409-</td> </tr> </table> <p>有限会社 ポスト・イン</p> <p>〒279-0859 千葉県船橋市金杉7丁目</p> <p>TEL 047-440-</p>				〒234,090-	(%) ¥23,409-							
〒234,090-												
(%) ¥23,409-												

2023年04月03日(月)

お得意先

土屋正順 様

案件名 つちや正順 議会レポート

有限会社 ポスト・イ
〒273-0853
船橋市金杉7-11-1

配布期間 2023年03月27日(月) ~ 2023年03月31日(金)

配布完了 2023年03月31日(金)

配布条件 戸建・集合

TEL : 047-440-1639


FAX : 047-440-1641

担当: XXXXXXXXXX

地区名	世帯数	配布数	報告書備考欄
八幡1~3	3,900	2,880	
八幡4~6	2,460	2,360	
河原	500	490	
下新宿	690	500	
本塩	1,350	980	
関ヶ島	730	630	
伊勢宿	920	790	
押切	780	580	
妙典1~3	2,650	2,270	
妙典4~6	3,100	2,670	
富浜1~3	3,380	2,690	
塩焼1、4~5	2,670	2,470	
塩焼2~3	2,790	2,570	
宝1~2	2,040	1,890	
幸1~2	2,530	2,260	
入船	880	720	
日之出	1,240	1,110	
湊	690	600	
湊新田	300	260	
湊新田1~2	2,000	1,710	
香取1~2	2,350	2,060	
新浜1	1,500	1,280	
福栄1	2,000	2,010	
福栄2	1,800	1,600	
福栄3~4	3,000	2,610	
南行徳1	1,900	1,710	
南行徳2	1,720	1,470	
南行徳4	1,300	1,200	
塩浜4	2,800	2,600	
欠真間1	990	920	
相之川1~2	2,860	2,680	
広尾1~2	1,230	1,060	
加藤新田	390	390	
	59,440	52,020	

様式第9号 (第6条関係)
 (交付対象議員用)

支 出 伝 票

		交付対象議員	整 理 番 号											
			4-1											
支 出 項 目	4 調査研修費	令和4年10月18日 起票												
支 払 金 額	<table border="1"> <tr> <td>金</td> <td>額</td> <td></td> <td></td> <td>¥</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>			金	額			¥	5	5	5	2	0	円
金	額			¥	5	5	5	2	0	円				
内 容	市外出張旅費として、 ・7/28、7/29 ・視察先 兵庫県明石市、兵庫県神戸市		<table border="1"> <tr> <td>按分割合</td> <td>100%</td> </tr> </table>	按分割合	100%									
按分割合	100%													
《領収書添付欄》														

様式例 1

市外出張旅費明細書

出張者氏名 (3名)	大久保 たかし	中町 けい
	つちや 正順	
日 時	令和4年7月28日～29日	
場 目 所 的	明石市議会事務局 人と防災未来センター	
旅 費 額	運 賃	19,980 円
	特急料金	12,020 円
	日 当 (1日3,300円)	6,600 円
	宿泊料 (1泊16,500円)	16,500 円
	その他 (バス等)	420 円
	一人あたり合計額	55,520 円
	総額 (3名分)	166,560 円
備 考	行程別紙のとおり	

政務活動費視察旅費計算表

令和4年7月28日(木)～29日(金)

視察市：明石市

人と防災未来センター

旅 程
【7月28日】 本八幡 → 品川 → 新大阪 → 明石 → 《明石市議会事務局》
【7月29日】 明石 → 灘 → 《人と防災未来センター》
《人と防災未来センター》 → 三宮駅ターミナル前 → 三ノ宮 → 新大阪 → 東京 → 本八幡

○運賃 19,980円

発	着	金額	距離	備考
本八幡 →	明石	9,790円	626.3km	往路：JR新幹線のぞみ301号
明石 →	灘	400円	24.3km	
三ノ宮 →	本八幡	9,790円	604.4km	復路：JR新幹線のぞみ370号

○その他 12,440円

・特急料金 100k以上		12,020円			
発	着	金額	距離	備考	
品川 →	新大阪	6,010円	545.8km		
新大阪 →	東京	6,010円	552.6km		
・バス運賃 1.5k以上		420円			
発	着	金額	距離	備考	
JR灘 →	人と防災未来センター	210円	1.0km		
人と防災未来センター →	三宮駅ターミナル前	210円	2.5km		
・航空運賃		0円			
発	着	金額	距離	備考	

※往復 = 「⇄」、片道 = 「→」

総距離 1,258.5km

○宿泊料(議員) 16,500円 @16,500円/泊

○日当 6,600円 @ 3,300円/日

議員1人分計 55,520円

議員3人分計 166,560円

視察報告書

提出者 つちや正順

視察先 兵庫県明石市議会

視察案件 「明石市における子ども子育て政策について」

実施日 令和4年7月28日

(1) 視察先の概要

明石のまちは、江戸時代に小笠原家10万石の城下町として栄え、阪神と播磨、淡路との接点に位置する交通の要としての役割を果たしてきた。1942年には林崎村、1953年には大久保町、魚住村、二見町の3町村が合併し現在の市域が形成された。さらに、1960年には企業の進出や住宅開発に伴う阪神間都市圏からの人口流入により、住宅都市、産業都市として大きく発展した。

2002年には特例市、2018年には中核市となる。現在の市の面積は49.42平方メートル、周囲は60.4キロメートルであり、市域の最長距離は東西に15.6キロメートル、南北9.4キロメートルとなっており、東西に細長いまちを形成している。総人口は304108人、世帯数は135048世帯となっている。

(2) 視察目的

市川市の子育て世帯は、年々、減少の一途を辿っている。その象徴がかつての待機児童問題なのであった。現時点では待機児童はゼロという局面まで来たものの、待機児童ゼロの継続、さらには保育の質の維持と向上が次の大きな課題となる。また、今後、より子育てしやすい市川市を創っていくためには、今こそ大胆な子ども子育て支援策を打つ時だといえる。

視察先である明石市は、出生率が全国平均を上回り、実際に明石市で暮らす子育て世帯からの信頼も厚い。給食費や子ども医療費が高校3年生まで無料、プールやプラネタリウム（天文科学館）など、公共施設も高校生まで無料で利用することができる。子ども子育て世帯に対する支援政策が手厚い上に、そこで暮らす市民が実際にそれを実感できる施策を次々と実行している。自治体の財政規模や人口も市川市と比較して類似することから、本市の子ども子育て政策を考案、実行するうえでロールモデルとして注目すべき自治体と考え視察を行った。

(3) 視察内容

1. 明石市における子ども養育支援ネットワーク

先述の給食費や医療費、公共施設の無償に加えて、特に明石市が「子どもを大切にしている」ということができる象徴のひとつが「養育支援ネットワーク」である。

わが国の民法は従来、「法は家庭に入らず」という原則のもと、民と民の問題に公である行政が介入するべきでない、という考え方が一般的であった。しかし、わが国の離婚件数は年間約20万件にのぼり、未成年の子どもがいる離婚は全体の約60%を占めている。親の離婚や別居によって、子どもの生活環境をはじめとする諸権利が制限され、何より「子どもたちの意思」が尊重されているとは言い難い現実がある。親の都合や親同士の意思よりも、本来、優先されるべきは子どもの意思である。明石市は「子どもは親の持ち物ではなく、人格を持った一人の人間であり、個人として尊重されるべきである」という考え方のもとに、この養育支援ネットワークに取り組んでいる。このネットワークの内容を述べる前に、そもそも、こうした考え方自体が、子どもに関する諸政策の出発点として、わが市においても広く普及すべきと私は考える。

2012年4月1日に民法766条が改正された。「子の利益を最も優先して考慮しなければならない」ことが明記されることとなった。養育費や面会交流の重要性が社会全体で認識されるようになり、時を同じくして明石市にも「養育費の取り決め」や「面会交流」に関する相談が増えたという。これらの市民の声に具体的に応えるものが、弁護士資格を有する5人の職員を中心に取り組む明石市こども養育支援ネットワークである。自治体としてまるで新しい取り組みが始まることになる。主な取り組みは以下の三点だ。

その一点目は、離婚後の子どもの養育方針を記入する用紙の配布だ。養育費の額、支払いの期間や振込口座、面会交流の方法や頻度などを記すものであり、離婚届の交付時に市民に手渡す仕組みとなっている。さらに、こうした合意書を作成した後は、公証証書にできるよう公証役場も紹介する。当事者同士でも解決が困難な場合には法テラスにも繋げる。

二点目として、面会交流支援の中身は特に踏み込んだ内容になっている。子どもの情報を共有するための養育手帳を配布し、さらには面会交流場所として公共施設を提供するだけでなく、面会交流当日に子どもの付き添いや受け渡しまでも実施する。その内容にも細心の注意が払われており、「子どもの安心安全を最優先に、子どもが望まない面会交流は行うべきではない」という方針を大前提に取り組まれている。

最後の養育費確保支援もきめ細かい内容になっている。その柱となる支援の内容は、履行促進支援、差押え支援、立替金の支給、過料・公表が主な取り組みとなる。上記の面会交流支援では「子どもに愛情を」という考え方であるが、養育費確保支援での合言葉は「子どもに栄養を」というものである。

わが国では、母子家庭の56%が養育費を受け取ったことがない、という厚労省の調査データがある。諸外国と比較しても、スウェーデン、ドイツ、フランスには国による養育費の立替制度があり、アメリカ、イギリス、オーストラリアでは国による強制徴収制度が設置されている。日本では、こうした取り組みが遅れているために泣き寝入りするしかない家庭が多いという。

2014年に4月に始まったこれらの取り組み当初、明石市としての本音は恐る恐る始

まった挑戦だったという。しかし、今回の市川市議としての私の調査も含めて、現在では全国からの問い合わせと、これに続く自治体が加速度的に増加している。今では明石市が中心となり、全国に拡大する取り組みとなっている。

2. おむつは満1歳まで無料～おむつ定期便～

0歳児を養育する保護者は、子どもの命を守るために24時間の緊張状態の中で子育てをすることになる。特に一人目の場合の不安や負担は重く、コロナに加えて子どもを連れての外出が困難なケースが多く、家に閉じこもりの生活の中で周囲に支援を求めることは難しい。この時期には、子どもに対する重篤な虐待事例も多発する時期という。

こうした課題を背景に明石市が取り組みを始めたのが、おむつ定期便である。1歳までおむつが無料であるだけではない。保護者や赤ちゃんと出会うきっかけとして3000円相当の赤ちゃん用品と子育て情報誌を1歳の誕生日まで無料で宅配する。宅配するのは子育て経験のある見守り支援員だ。支援員はそこで、不安や悩み、心配なことがないか対面で声をかけ、赤ちゃんだけでなく保護者の見守りを行う。相談内容に応じて、市の支援サービスにも積極的に繋げている。アンケート調査による市民の反応は上々であり、申請率は実に99.5%にのぼるという。

(3) 視察から得られた考察

少子化対策という言葉が使われて久しいが、視察を通じて感じることは、今ある子どもの命と気持ちに寄り添うことと、保護者の声に大胆に答えていくということが最も重要なのだということだ。少ない子どもを増やそうという発想だけが出発点では、子どもや保護者が生きやすい安心な社会を構築することはできない。明石市が打ち出しているように、子どもには愛情と栄養、それから一人の人間としての尊重が必要である。何より大切なことは、子を持ちながら不安や困難に直面している保護者がいるならば、行政が先頭に立って支援に乗り出していくという考え方だ。子どもや保護者に地域の行政が寄り添わなければ、2人目、3人目の子育てを諦めてしまう人が多いのはなぜなのか、その理由はわからないままである。寄り添えば、地域としてそのニーズに応じた予算とサービスを効果的に配分することができる。併せて、子どものことは保護者まかせにせず、地域で守り抜くという強い意志と実行力（政策）が必要となる。

振り返ってわが市川市はどうか。基本理念の面でも、具体的政策についても、この明石市の取り組みを大いに参考にして、次の子ども子育て政策を進めていかなければならない。子ども子育て分野においても、新しい取り組みで議論になるのは財源論である。これはもちろん大切なことである。しかし、類似団体である明石市ができているのに市川市ができない、という考え方は通用しない。財政的にも懐疑的な意見が出たことはあるであろうが、今もこれらの諸政策は継続されており、何より市民の多くがそれを支持している。



視察報告書

提出者 つちや正順
視察先 人と未来防災センター
視察案件 「防災・減災対策」
実施日 令和4年7月29日

(1) 視察先の概要

人と未来防災センターは、阪神・淡路大震災の復興シンボルとして2002年4月に兵庫県によって設置された。神戸市東部の新都心に位置し、そのミッションは「阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、教訓を未来に活かす」ことである。以下で詳細を述べるが、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を柱に安全・安心な市民協働、減災社会の実現に貢献している。

(2) 視察目的

首都直下地震の発生が懸念される中にあり、避難所施設の環境整備、学校を中心に公共施設における耐震補強、非常用食糧・各備品の備蓄、自治体間の広域連携、防災・減災教育の普及、被災者の生活と心のケアなど、市川市においても取り組むべき課題は山積している。しかし、防災対策につきものなのが忘却である。日々の生活の中で防災に関する備えの危機意識を喚起し続けることは容易ではない。その意味においても、人と防災未来センターの存在意義は大きい。事実、以下に述べる通り、市民に対する危機感への喚起、具体的対策、また、訪れた人たちが、それぞれの役割や生活環境、労働環境の中で、個別具体的に注意すべき点を整理、点検、対策するヒントが随所に散りばめられている。子どもからお年寄りまで、だれもが防災に対する関心を向けられるように工夫された施設である。

視察の目的として、大人たちへの防災に対する忘却対策として、子どもたちへは災害のリスクを直感し、防災に対する知識を得るための施設として、何より各個人の具体的な備えのきっかけや参考として、市川市にも類似の施設、あるいは施設とまでいかなくとも、より効果的な仕掛けを展開できないかどうかという点の調査として視察を行った。

(3) 視察内容

センターは大きく6つの機能で構成される。一つ目の機能は展示である。西館では、震災発生の瞬間映像、被災者視点による被災直後から復興に至る経過を消化したドラマの映像が展示されている。語り部が自らの体験を語るコーナーも設置されているが、語り部の方々がご高齢になられていることもあり、これも映像で紹介している。どの分野にもいえることであるが、直接体験をされた方が少しずつ減っていくという実情がある。これは

施設にとっても大きな課題となっているという。東館に移動した先には、体験を通じて防災・減災を学ぶことができるように、幅広い世代が様々な体験をして、楽しみながら防災や減災を学ぶことができるようBOSAIサイエンスフィールドが設置されている。別のフロアでは、「にげよう、大切な命を守るために」というVTRを上映している。このように、施設は東西の二館に分かれているのであるが、西館では「震災の経験と教訓の発信」に特化し、東館では「防災・減災を学ぶ」体験型の仕掛けとなっている。

二つ目の機能は、資料の保存と収集である。平成7年から収集が開始され、ビラ、チラシ、ノート、メモ、写真、避難所で使用されたものなど貴重な一時資料のほか、二次資料として、図書や雑誌刊行物やビデオやDVDも保存されている。

三つ目の機能は、防災研究と若手防災専門家の育成である。大学院や博士課程を修了した若手研究者を常勤として（現在は約8名在籍とのこと）採用し、国内一線級の防災専門家である上級研究員の指導のもとに研究を実施している。任期終了後には全国の大学や各機関で研究の継続と発信を行っている。

四つ目に災害対策専門員の育成機能がある。全国自治体の防災・危機管理担当職員を対象に、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた実践的な研修を実施している。巨大災害対策に必要な事項を体系的に網羅し、受講者の累計は1万人を超える。

5つ目の機能が災害対応の現地調査・支援である。大規模災害が発生した際に、都道府県からの要請に基づき、センターの専門家を被災地の災害対策本部に派遣している。これまでの国内外57災害での活動実績をもつ。

最後の機能は、交流とネットワークの構築だ。施設の立地する神戸東新都心には防災、医療、保健、環境などに対する国際機関が数多く集積している。災害発生時に連携した対応をするために、研修を受講した行政実務者や研究者等とネットワークを形成し、地域団体や学校、関係機関と防災訓練を行っている。地域に限らず、国境も超えて防災減災の中心拠点としての機能も果たしているのである。

(3) 視察から得られた考察

普段からの防災意識の維持という点で、外部情報による刺激は重要である。大きな地震を経験したことのない多くの子どもたちも修学旅行や校外学習の機会に施設を利用するという。施設に入り、一番初めに衝撃的なのは地震を疑似体験する映像コーナーである。市川で東日本大震災の比較的大きな揺れを断続的に経験した大人の私でも、その臨場感から震災への恐怖が全身に蘇ってくる感覚となった。子どもたちが災害のリスクを本能的にキャッチするだけでなく、大人たちにとっても「震災の恐怖を忘れたのか」と囁かれているような心地になる。発災時の映像と地鳴りと建物が揺れ、倒壊する恐怖を体感する。多くの体験者が次に考える「私の家は大丈夫か」「私の生活圏内で被災したらどうすればよいか」「どのように備えればよいか」という次の疑問に答えるように、展示や防災減災知識の提示が施設内に続く。まずは、この出発点が重要である。防災・減災のためには震災の恐ろ

しさを疑似体感することである。忘れそうになったときに、それを思い出す仕掛けが地域にあることは大切なことだ。

地域によって震災時のリスクは異なる。埋立地であれば液状化現象がリスクとなり、住宅密集地であれば火災が大きなリスクとなり、海辺の自治体であれば津波、人口の多い地域であれば避難所はキャパシティを超えるために自宅避難のことも考えておかなければならない。震災対策一般の知識は各情報媒体で得ることもできるが、市川市なら市川市の特性を踏まえて、個人として個別具体的にどう備えておくべきなのか、より細かく備えのための知識をまとめておく必要がある。それらを一元化して体系的にまとめ、北部地区向け、行徳地区向けなど、市川の中でも各特性に分けて、各地区の市民がより実践的な備えの知識にアクセスできる環境づくりをさらに進める必要がある。

人と防災未来センターは兵庫県の管轄である。施設の規模をみれば、県が管轄してしかるべきであるが、このセンターほどまとはいわないまでも、例えば市内公共施設に併設する形式で震災への注意喚起と具体的対策を考える場所ができないものか。あるいは、県の大型施設でも、しばしば移転や運営について再検討されるケースがある。そうした施設を震災・減災施設として再活用できないのか。いずれにしても、震災・減災対策は忘却や、そもそも震災を知らないという新しい世代へ伝えることが一つ目の大きな超えるべき課題である。その課題克服に向けて、大いに参考とすべき施設である。

